


## B-6 キャンドルのつどい

概要	<p>キャンドルの火を囲み、歌や踊りなど楽しいスタンプ（出し物）を行い、連帯感や友情を深めたり、研修のまとめや振り返り時間として自己を深く見つめたりするのに適した活動</p>				
ねらい	自然に親しむ	仲間づくり・協調性	課題克服・達成感	 キャンドル HP 詳細へ	
		○	◎		
	歴史文化に親しむ	知識	創意・工夫		
条件	場所	体育館、プレイホール、講堂		対象	小学生以上
	時間	1～2時間程度		人数	最大200名程度まで可能 ※場所により変動
	時期	通年		天候	全天候実施可
	料金	キャンドルのつどいセット（¥950）※ろうソク、燭台、衣装貸出含む			
準備物	センターが貸し出すもの			団体が準備するもの	
	<input type="checkbox"/> CD ラジカセ等放送器具 <input type="checkbox"/> マイク <input type="checkbox"/> 衣装 <input type="checkbox"/> 燭台 <input type="checkbox"/> ろうソク受け（最大10個貸出可）			<input type="checkbox"/> 料金（¥950） <input type="checkbox"/> 火器（マッチ、ライター等） <input type="checkbox"/> 「交歓のつどい」で必要なもの	
展開	<p>※詳細は「キャンプファイヤー・キャンドルのつどい実施マニュアル」を参照ください。</p> <p><b>1 事前（当日までの準備）</b>            (1) 主旨や実施方法を把握する。（職員との打合せ、相談、随時受付あり）            (2) 進行の流れを決め、歌や踊り、スタンプ等の準備、練習をする。</p> <p><b>2 活動（当日の流れ）</b>            (1) 「キャンドルのつどい」の準備を行う。            →事前の準備時間として、30分程度確保をお願いします。            準備はセンター職員が支援します。お声かけください。            （燭台の準備、火の着け方、照明や放送機器について）</p> <p>(2) 「キャンドルのつどい」の実施（基本の3部構成で実施の時）            ①第1部 迎火のつどい            →全員で輪になり中央の燭台を囲み、聖なる火を持つ火の神を迎え、燭台のろうソクに点火するつどい            ②第2部 交歓のつどい            →みんなで歌や踊り、ゲームを行い、楽しい雰囲気の中で友情を深めるつどい            ③第3部 送火のつどい            →自分たちを照らしてくれた火に感謝し、仲間との一日を振り返るつどい            ※ 迎火のつどい、送火のつどいについては、「進行例」の資料があります。            お問い合わせください。</p> <p><b>3 事後（片付け）</b>            (1) 用具の回収、返却            (2) 燭台を元の場所に返し、燭台や床に垂れたろうの清掃            (3) 終了の報告</p>				
実施の留意点	<p>○ 「キャンドルのつどい」は、原則、「キャンドルのつどいセット」を購入してください。セットには、ろうソク・燭台・ろうソク受け・衣装の使用料が含まれています。</p> <p>○ 火の取り扱いには十分気をつけてください。</p>				

火の神(女神)の衣装…白い服、白い髭、杖、冠

